

五月人形 久月『名匠』シリーズ

ひな人形・五月人形・鯉のぼり・鎧兜

(一社) 日本人形協会加盟店
人形の久月
わたや
WA-TA-YA



上原玉鳳作 正絹紺糸色々緘兜飾り
間口43×奥行28×高さ52 (cm)



上原玉鳳作 正絹色々緘兜飾り
間口44×奥行31×高さ47 (cm)



二十八間筋兜 正絹糸緘
銀小札白糸緘金胴大鯢形之兜



ちようきんにおう
彫金仁王シリーズ



久月オリジナル



向い鳩金物



鈴木利光作 本金箔押兜飾り
間口46×奥行27×高さ41 (cm)



鎌倉時代
貼り合わせ小札



加藤峻巖作 1/4紅裾濃緘兜飾り
間口46×奥行32×高さ41 (cm)



この兜の鯢形は群馬県の貫前(ぬきさき)神社に所蔵されている南北朝末期の「金胴大鯢形」を参考に作ったものです。流れるような曲線が美しく宗光がこの兜用に苦心して作り上げました。



中村宗光作 兜平飾り
間口65×奥行38×高さ67 (cm)



鈴木利光作 彫金仁王大鎧飾り(正絹紺緘)
間口80×奥行56×高さ100 (cm)



阿形像・咩形像(金剛力士像)

仁王佩楯製作工程

お子様のすこやかな成長をの願いをこめて、守護神・仁王像を彫りこんだもので、一枚の彫金ができあがるまで、数多くの工程を経て仕上げられています。



金仕上げ

金ボカシ仕上げ

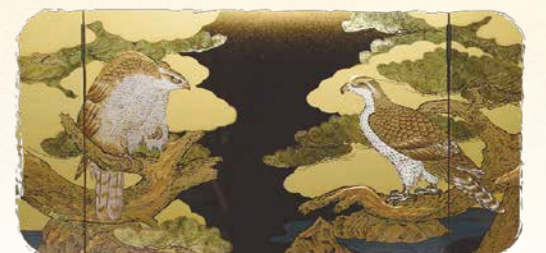
青金仕上げ

銀色の仕上げ

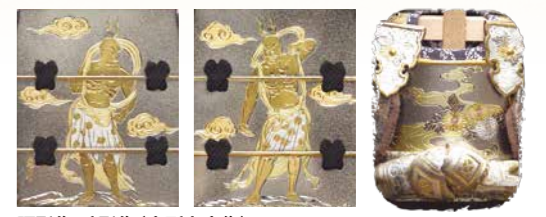
銅板に型取り



鈴木利光作 彫金仁王大鎧飾り(正絹黒糸緘)
間口70×奥行40×高さ69 (cm)



新松鷹塗屏風



阿形像・咩形像(金剛力士像)

匠の舌工



経済産業大臣指定
伝統的工芸品
江戸節句人形
伝統工芸士
加藤峻巖
(本名 加藤良)

高校卒業と同時に家業の甲冑造りに入り、父一舟より基礎から徹底的に学び、また、甲冑師五反田重正にも師事して「小札ごしらえ」を修行する。叔父に故二代目秀山、兄に二代目一舟(本名 博)と二男の加藤精美[ともみ](本名 精美[ともよし])をもつ。第30回全国新作節句人形コンクールにて最優秀技能賞(金賞)を受賞。平成20年、伝統的工芸品江戸節句人形の伝統工芸士に認定される。



経済産業大臣指定
伝統的工芸品
江戸節句人形
伝統工芸士
鈴木利光
(本名 三瓶真一郎)

甲冑師初代利光より手解きを受け、技法を継承しながらも研鑽を重ね、平成19年より「二代目利光」を名乗る。東京節句人形コンクールにて、内閣総理大臣賞を初めてと数々の受賞に輝く。その作風は、重厚かつ本物志向の中に華麗さも備えている。平成21年、伝統的工芸品江戸節句人形の伝統工芸士に認定される。



甲冑師
上原玉鳳
(本名 吉澤建一)

昭和21年1月1日東京に生まれる。祖父の代より人形師の家生まれ、昭和43年家業の人形店に入る。平成6年、玉鳳を継承し、今日に至る。先代玉鳳の特徴を受け継ぎ、鯢形・吹き返し・屏風に彫金細工を施した製品を多数出品し、東京節句人形コンクールにて、内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、都知事賞等を受賞する。



経済産業大臣指定
伝統的工芸品
江戸節句人形
伝統工芸士
中村宗光
(本名 鈴木順一郎)

東京生まれ。平成10年より「宗光」を名乗る。内閣総理大臣賞、青年優秀技能賞を受賞。若手甲冑師として期待される作家です。平成20年、伝統的工芸品江戸節句人形の伝統工芸士に認定される。